

四日市港管理組合議会ニューズ

Yokkaichi Port Authority Assembly

第 43 号 (平成 29 年 2 月発行)

平成 28 年 7 月 12 日 (火) に平成 28 年第 2 回定例会が開会され、7 月 22 日 (金) に一般質問が行われました。

一般質問では、森康哲議員 (四日市市議会選出) と芳野正英議員 (三重県議会選出) が下記のとおり管理組合執行部の見解を質しました。

主な質問・答弁要旨

森 康哲 議員



○ **霞ヶ浦地区における「親しまれる港づくり」の取組に対しての効果と課題について、また、それを踏まえて戦略計画の着実な推進に向けて、今後どのように取り組んでいくのか。**

◎ 「四日市港まつり」の開催や富双緑地等のフリーマーケットや音楽イベント等での活用により、霞ヶ浦地区への来訪者数は、ここ 5 年間で約 1 万人増加し、緑地空間の利用についても、5 年前より約 6,000 人増加した。また、展望展示室については、開館時間を変更した結果、4 月から 6 月の総入場者数は、前年度同期と比較して 1.5 倍、とりわけ 17 時以降の夜間においては 2 倍近くになっており、取組の効果が顕著に出ている。霞ヶ浦地区におけるにぎわいの創出に向けて、港を身近に感じ、親んでもらえるように、引き続き、企業や団体等との連携した取組を進めるとともに、富双緑地等の緑地空間については、より一層活用していただけるよう、三重県や四日市市とも密接に連携をしながら、IT を活用した情報発信など効果的な PR を行う必要がある

芳野 正英 議員



○ **シドニー港との姉妹港提携は、平成 30 年度に節目である 50 周年を迎えるが、今後の新たな交流のあり方をどう考えているのか。**

◎ 昭和 43 年の姉妹港提携以来、シドニー港との交流については 10、20、30 周年の節目ごとの記念事業の開催や「シスターポートセミナー」「職員相互派遣事業」を実施してきた。しかし、40 周年 (平成 20 年) に向けて交流事業の準備を進めていたが、シドニー港側の諸事情で事業は中止となった。コンテナ航路の廃止やこれに伴う両港間の貿易量の激減、港湾管理者の変更等により、「シスターポートセミナー」等の事業を行うことは難しいと考えるが、シドニー港との交流の歴史や両港の関係性は、今後も大切にしていきたいと考えており、姉妹港提携 50 周年を迎える平成 30 年に向けて、シドニー港側の意向も確認しながら、今後の両港の交流のあり方について、検討を進めていきたい。

※詳細な質問答弁等については、当組合議会ホームページ会議録をご覧ください。